

日本台湾学会 設立10周年記念学術大会プログラム

2008年度学術大会実行委員会

日本台湾学会設立10周年記念学術大会を下記の要領で開催致します

今年度は日本台湾学会設立10周年を記念するシンポジウム「台湾研究この10年、これからの10年」を開催するほか、記念講演にはノーベル化学賞受賞者であり、台湾を代表する知性として知られる李遠哲博士をお迎えします。

皆様には、ふるってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

○概要

日時：2008年5月31日（土曜日）13時～、6月1日（日曜日）10時～

場所：東京大学駒場キャンパス

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1

共催：東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

後援：財団法人交流協会

参加費：2000円

日本台湾学会

設立10周年

記念学術大会

2008.05.31
～06.01

○スケジュール

5月31日（土）

受付開始：12:30～（数理研究棟1階ホール）

10周年記念シンポジウム：13:00～16:00（数理研究棟大会議室）

李遠哲博士・記念講演：16:10～17:40（数理研究棟大会議室）

懇親会：18:00～20:00（駒場生協2階）

6月1日（日）

受付開始：9:30～（18号館ホール前）

分科会（午前の部）：10:00～11:50（18号館4階コラボレーションルーム、および5号館1、2階教室）

会員総会：12:00～12:40（18号館1階ホール）

昼休み：12:40～13:50

分科会（午後の部）：13:50～15:40（18号館4階コラボレーションルーム、および5号館1、2階教室）

○プログラム

《10周年記念シンポジウム》

「台湾研究この10年、これからの10年」

日時：5月31日（土）13:00～16:00

場所：数理研究棟大会議室

総合司会：若林正丈（東京大学）

基調報告：春山明哲（早稲田大学、理事長）「日本台湾学会この10年」

下村作次郎（天理大学、前理事長）「関西地域における台湾研究」

パネルディスカッション

司会：川島真（東京大学）

パネリスト：

政治...松田康博（東京大学）

経済...佐藤幸人（アジア経済研究所）

歴史...駒込武（京都大学）

社会...三尾裕子（東京外国語大学）

文学...星名宏修（琉球大学）

《李遠哲博士・記念講演》

日時：5月31日（土）16:10～17:40

場所：数理研究棟大会議室

司会：春山明哲（理事長）

講演：李遠哲博士（台湾・中央研究院前院長）「私の学問、私の人生」（日本語）

《分科会報告》

◇第1分科会「文学から見た台湾の記憶 / 記憶の台湾 —1930年代を中心に」

10:00-11:50、13:50-15:40（午前・午後、2セッション企画）

企画責任者：李文茹（台湾・慈濟大学）

座長：呉佩珍（台湾・東呉大学）

（午前）

報告者：

Robert Tierney (Univ. of Illinois, Urbana-Campaign) “Narrating the Musha Incident”

呉亦昕 (筑波大学大学院) 「彼らの『東京』—1930年代台湾新文学のなかの東京」

コメンテーター：垂水千恵 (横浜国立大学)

(午後)

報告者：

李文茹 (台湾・慈済大学) 「集団的記憶の連続と断絶—戦後の霧社事件の関連作品をめぐって」

呉佩珍 (台湾・東呉大学) 「なぜ、今、女性作家は三〇年代を書くのか?—日台女性作家による殖民地台湾の記憶の再編制」

コメンテーター：川口隆行 (広島大学)

◇第2分科会 「『ポスト1958』の中台関係—攻撃の「挫折」か「回避」か？」

10:00—11:50 (午前、1セッション企画)

座長：伊藤 剛 (明治大学)

企画責任者：伊藤 剛 (明治大学)

報告者：

石川 誠人 (立教大学大学院) 「1962年国府の『大陸反攻』計画の立案とその挫折—主に対米関係の視点から」

福田 円 (東海大学) 「中国の台湾政策 (1962年)—福建省軍事動員と『危機』の回避」

コメンテーター (担当順)：佐橋亮 (東京大学)、高木誠一郎 (青山学院大学)

◇第3分科会 「台湾企業組織の発展と人的ネットワーク—計量分析とフィールドワークからのアプローチ」

13:50—15:40 (午後、1セッション企画)

企画責任者：田島真弓 (台湾・花蓮教育大学)

座長：沼崎一郎 (東北大学)

報告者：

李宗栄 (中央研究院社会学研究所) 「台湾企業グループ間の親族ネットワーク構造」

田島真弓 (台湾・花蓮教育大学) 「ネットワーク構造と知識導入メカニズム—台湾IC産業とTFT-LCD産業の比較を中心に」

コメンテーター：安田雪 (関西大学)、川上桃子 (アジア経済研究所)

◇第4分科会 「植民地台湾の新旧文学活動に潜在する外来的要素」

13:50—15:40 (午後、1セッション企画)

企画責任者：許時嘉 (名古屋大学大学院)

座長：中島利郎（岐阜聖徳学園大学）

報告者：

許時嘉（名古屋大学大学院）「植民地台湾の漢詩活動と内地日本の漢詩ブームとの接点について」

劉海燕（名古屋大学大学院）「台湾新文学における中国新文学の影響—『台湾民報』（1923～32）における中国新文学作品の分析を中心として」

コメンテーター（担当順）：坪井秀人（名古屋大学）、下村作次郎（天理大学）

◇第5分科会「台湾2008年選挙の分析」

13：50－15：40（午後、1セッション企画）

企画責任者：小笠原欣幸（東京外国語大学）

座長：若林正文（東京大学）

報告者：

小笠原欣幸（東京外国語大学）「投票行動の変化—2004年選挙との比較」

岸川毅（上智大学）「2008年選挙後—立法院の役割と政策過程の変容」

コメンテーター：高原 明生（東京大学）

◇第6分科会「自由論題報告I」

10：00－11：50（午前、1セッション企画）

座長：松田吉郎（兵庫教育大学）

報告者：

呉玲青（東京大学大学院）「米価変動から見た十九世紀前半の『台運』」

紀旭峰（早稲田大学大学院）「植村正久と台湾—日本キリスト者の植民地認識をめぐって」

コメンテーター（担当順）：堤和幸（福岡県大野城市立土の浦小学校）、松金公正（宇都宮大学）

◇第7分科会「自由論題報告II」

10：00－11：50（午前、1セッション企画）

座長：池上貞子（跡見学園女子大学）

報告者：

高橋一聡（一橋大学大学院）「1950年代国民党の『共匪』認識と反共文芸作戦」

松崎寛子（東京大学大学院）「台湾高校国文教科書における台湾文学」

コメンテーター（担当順）：松田康博（東京大学）、黄 英哲（愛知大学）

◇第8分科会「自由論題報告III」

10：00－11：50（午前、1セッション企画）

座長：植野弘子（東洋大学）

報告者：

金戸幸子（東京大学大学院）「1930年代以降の台湾における植民地的近代と女性の職業の拡大—八重山女性の植民地台湾への越境を促したプル要因との関連を中心として—」

磯田一雄（大阪経済法科大学）「皇民化期台湾における日本語短詩文芸—戦前期台湾短歌・俳句と戦後台湾歌壇・俳壇のミッシング・リンクを求めて—」

コメンテーター（担当順）：浅野豊美（中京大学）、星名宏修（琉球大学）

◇第9分科会「自由論題報告IV」

10：00－11：50（午前、1セッション企画）

座長：朝元照雄（九州産業大学）

報告者：

荒井久夫（専修大学大学院）「台湾産業のスピン・オフ形態の創業事例—IT、機械・金属産業を中心として—」

寺尾忠能（アジア経済研究所）「台湾の船舶解体業の盛衰と資源リサイクル産業」

コメンテーター：伊藤信悟（みずほ総合研究所）

◇第10分科会「自由論題報告V」

13：50－15：40（午後、1セッション企画）

座長：山口守（日本大学）

報告者：

倉本知明（立命館大学大学院）「身体的記憶から都市の廃墟へ—朱天心『ハンガリー水』における眷村表象を中心に—」

西端彩（お茶の水女子大学大学院）「モダニズムvs郷土文学？—黄春明のモダニズム実践を通して—」

コメンテーター（担当順）：清水賢一郎（北海道大学）、三木直大（広島大学）

◇第11分科会（実行委員会企画）「涂照彦・劉進慶の仕事を読み直す」

13：50－15：40（午後、1セッション企画）

座長：駒込武（京都大学）・佐藤幸人（アジア経済研究所）

報告者：

湊照宏（日本学術振興会）「涂照彦『日本帝国主義下の台湾』再読」

北波道子（関西大学）「台湾の経済発展と『官民二重構造』」

コメンテーター（担当順）：平川均（名古屋大学）、黄紹恒（台湾・交通大学）

[日本台湾学会ホーム](#)